

令 03 原機 (科バ) 010
令和 3 年 8 月 20 日

原子力規制委員会 殿

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
理事長 児玉 敏雄
(公印省略)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の原子炉施設（放射性廃棄物の廃棄施設）の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請書（その7）の変更について（届出）

(放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備の一部変更)

令和元年7月4日付け令01原機(科バ)006をもって申請（令和元年11月26日付け令01原機(科バ)011及び令和2年11月12日付け令02原機(科バ)008をもって一部補正）し、令和3年1月25日付け原規規発第2101253号をもって認可を受けました国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の原子炉施設（放射性廃棄物の廃棄施設）の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請書（その7）について、記載事項の一部を変更しましたので、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第27条第5項の規定に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1. 名称及び住所並びに代表者の氏名

名 称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
住 所	茨城県那珂郡東海村大字舟石川 765 番地 1
代表者の氏名	理事長 児玉 敏雄

2. 変更に係る試験研究用原子炉施設の概要

放射性廃棄物処理場
放射性廃棄物の廃棄施設
固体廃棄物の廃棄設備

3. 法第二十七条第一項の認可年月日及び認可番号

認可年月日 令和 3 年 1 月 25 日
認可番号 原規規発第 2101253 号

4. 変更内容

別紙に示すとおり、「保管廃棄施設に係る津波防護対策」に係る設計仕様のうち、ゲート本体の材料に関する記載の一部を変更する。

5. 変更理由

設計仕様に示したゲート本体の材料について、工事計画において設計仕様に記載の JIS 規格による材料を入手することが困難なため、同期間においても入手可能な異なる JIS 規格による材料に変更する。なお JIS 規格変更に伴う許容応力度の変更はなく、ゲート本体の強度に影響を与えるものではない。

以上

別紙

設計及び工事の方法の変更について

第 1 編 保管廃棄施設に係る津波防護対策

1. 放射性廃棄物の廃棄施設の構成及び申請範囲
(変更なし)

2. 準拠した基準及び規格
(変更なし)

3. 設計

3.1 設計条件
(変更なし)

3.2 設計仕様

「表3 第2保管廃棄施設に係る津波防護壁の設計仕様」について、別添-1を別添-2に変更する。

4. 工事の方法
(変更なし)

(変更前) ※下線部は変更箇所を示す。

表 3 第 2 保管廃棄施設に係る津波防護壁の設計仕様

対 象 施 設	第 2 保管廃棄施設
津波防護壁の 設 計 高 さ	<p>浸水高さに応じて設計高さを設定する。</p> <p>Aタイプ： T.P. +10.60m</p> <p>Bタイプ： T.P. +9.60m</p> <p>Cタイプ： T.P. +9.10m</p> <p>(表 5 に津波浸水高さと設計高さの関係を示す。)</p>
全 長	約 432m
構 造	プレキャストコンクリート
基 礎	杭基礎 (地盤改良)
材 料	<p>壁 : プレキャストコンクリート</p> <p>鉄筋 : SD345 (JIS G 3112)</p> <p>鉄骨 : SM400A (JIS G 3106)</p> <p>コンクリート : 普通コンクリート (JIS A 5308)</p> <p>杭基礎</p> <p>杭 (鋼管) : SKK400 (JIS A 5525)</p> <p>SKK490 (JIS A 5525)</p> <p>SM570 (JIS G 3106)</p> <p>地盤改良</p> <p>セメント : 高炉セメント (JIS R 5211)</p> <p>ゲート</p> <p>ゲート本体 : SUS316L (JIS G <u>4305</u>)</p> <p>基礎部</p> <p>鉄筋 : SD345 (JIS G 3112)</p> <p>コンクリート : 普通コンクリート (JIS A 5308)</p>
図	図－1.4、図－1.6～図－1.9

(変更後) ※下線部は変更箇所を示す。

表3 第2保管廃棄施設に係る津波防護壁の設計仕様

対 象 施 設	第2保管廃棄施設
津波防護壁の設計高さ	<p>浸水高さに応じて設計高さを設定する。</p> <p>Aタイプ： T.P.+10.60m</p> <p>Bタイプ： T.P.+9.60m</p> <p>Cタイプ： T.P.+9.10m</p> <p>(表5に津波浸水高さと設計高さの関係を示す。)</p>
全 長	約 432m
構 造	プレキャストコンクリート
基 礎	杭基礎(地盤改良)
材 料	<p>壁 : プレキャストコンクリート</p> <p>鉄筋 : SD345 (JIS G 3112)</p> <p>鉄骨 : SM400A (JIS G 3106)</p> <p>コンクリート : 普通コンクリート (JIS A 5308)</p> <p>杭基礎</p> <p>杭(鋼管) : SKK400 (JIS A 5525)</p> <p>SKK490 (JIS A 5525)</p> <p>SM570 (JIS G 3106)</p> <p>地盤改良</p> <p>セメント : 高炉セメント (JIS R 5211)</p> <p>ゲート</p> <p>ゲート本体 : SUS316L (JIS G <u>4304</u>)</p> <p>基礎部</p> <p>鉄筋 : SD345 (JIS G 3112)</p> <p>コンクリート : 普通コンクリート (JIS A 5308)</p>
図	図-1.4、図-1.6~図-1.9